

# 小P連だより

発行日：令和4年 3月3日  
発行者：令和3年度 立川市立小学校PTA連合会  
会長 堀田 康雄  
事務局 大山小学校 PTA

## 会長より

立川市立小学校PTA連合会会長 堀田 康雄

日頃より、保護者の方々におかれましては、PTA活動にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

一昨年より、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、小P連としても感染対策を優先的に考えて活動してきました。様々な行事が中止となる中で、小P連として何ができるのかを考えさせられる一年間だったと感じています。コロナ禍での活動に対し各校会長の皆様、そして各校の教職員の先生方には、その都度の相談などに対し、ご意見、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

今後もしばらくはコロナ禍が続くと思います。だからこそ、今、子ども達のためにできることもあるのではないのでしょうか。立川市小学校連合会は、これからも各校の皆様と連携し協力し合いながら、子ども達の未来のために活動を続け参りたいと思います。

最後に今年度、小P連の運営を担って下さいました役員校の皆様、運営事務局皆様、本当にありがとうございました。

## 会長校校長より

立川市立大山小学校 校長 松村 利一

保護者の皆様におかれましては、日頃より学校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また、立川市立小学校PTA連合会会長の 堀田 康雄 様をはじめ、小学校PTA連合会の活動に携わってくださっている皆様には、ご多用の中、お時間を割いていただきまして誠にありがとうございます。

長引くコロナ禍の中で、PTAの活動も制限が多く、見直しといろいろ工夫が求められております。しかしながら、子ども達を取り巻く環境の変化は著しく、子ども達の健全育成上の課題は年々多様化・複雑化しています。それらの課題に丁寧かつ確実に対応していくためには、たくさんの大人の力、大人の連携が必要であると感じています。この小学校PTA連合会の活動は、まさに立川市内の学校そして保護者が連携して、立川市の子ども達の健全育成を守るための大きな役割を果たしているものでもあります。時代や状況に合った形に見直しをしていくことは必要だとは思いますが、活動の意義を皆で共有し、子ども達が心豊かに安心して学べる環境づくりのために、今後もお力をお借りできることを願っております。引き続き、小学校PTA連合会の活動ならびに各校PTAの活動にご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

## ★PTA活動・取組★

大山小学校PTAでは、持続可能なPTA活動の実現を念頭に置き、大きな改革を実行しました。それは「1人1役への移行」であり、誰かに負担が偏るのではなく、少しずつ保護者と先生方が本部役員や専門部などの役割を分担していくものです。この改革でより多くの方が、PTA活動に参加し、その結果、先生方と保護者そして子どもたちとのコミュニケーションの場が増加し、改めて良い関係作りにもつながりました。

今後も大山小学校PTAは、「すべては、子どもたちのために」をモットーとし、活動して参ります。

大山小学校 PTA会長 堀田 康雄

コロナ禍の制限のある活動も2年間、ご協力下さった保護者の皆さまと教職員の先生方に感謝申し上げます。昨年度より続く制限のある中、PTAとしての今後の活動について本部役員と話し合いを重ねました。PTAが任意の団体である事や現状の共働きの多い家庭環境に合わせ、今までの活動を見直し、変更、削減、工夫に取り組みました。

「子どもたちのためにこのくらいなら協力できる」と自主的にPTA活動に参加してもらえることが理想だと思います。今後も学校・保護者・地域の皆様の協力のもと、よりよい運営をしていきたいと思っております。1年間、ありがとうございました。

第一小学校 PTA会長 米川 千香

コロナ禍でこの時期を迎えるのも3回目。オンライン化できるものはオンライン化し、感染対策をしながら活動できたこともあれば、対策しきれないため見送った活動もありますが、結果、PTA滑動全般の見直しとスリム化を進める契機となったことは間違いありません。

キッカケはコロナでしたが、コロナが落ち着いたとしても、この流れは続けていければと考えております。保護者の皆様、教職員の皆様、地域の皆様、引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。1年間ありがとうございました。

第二小学校 PTA会長 山本 賢司

今年度は、コロナ禍でできる形を模索する1年でした。感染対策に努めながら、会議やあいさつ運動・自転車検定等を実施。感染状況に合わせて、運動会・学芸会など学校と対応協議しました。また、PTA室の断捨離を断行。長年の懸念事項だった増え続ける資料や物を整理することができました。コロナ禍でコミュニケーション不足になりがちな部分を、LINEで情報共有をこまめにする事で、本部役員間のチームワークを良好に保てました。

第三小学校 PTA会長 杉浦 友和

四小は今年度は全ての専門部を復活させました。最初の保護者会で委員決めをする際に希望者がいない場合はくじ引きをせず欠員のままにする事と、ゼロの場合はその専門部の活動を行わない旨を説明しましたが、幸いゼロにはならず済みました。人が集まることに制限が多い中、各部工夫を凝らして、広報はホームページに記事を掲載、行事部はモザイクアートの作成など、今年初めての取り組みを行なっていただきました。

第四小学校 PTA会長 佐藤 誠治

私がPTA会長になって1年が過ぎようとしています、ここまでのPTA活動を振り返ると常に『コロナ』が隣に居ました。1年前のPTA運営委員発足時からイベントが活動自粛、延期、中止となる中、副会長達を中心とした運営委員の方々が「今まで前例がないコロナ」が収束した際のPTA運営のマニュアルを手探りながら制作している姿に心を打たれ、その姿勢に私自身が気づかされ私の中にも『PTA魂』が芽生えた1年だったと思っております。

第五小学校 PTA会長 木村 晃

今年度は主に運動会や自転車教室などの学校行事への協力、横断歩道での見守りやあいさつ運動を行いました。地域との会合も少しずつ行えるようになりました。運営面では、役員選考や行事協力などの募集方法も変更し、「各クラス何名」という決め方ではなく、アンケートによる希望制としました。変更に伴う様々な問題を少しずつ解決し、現状に合ったPTA活動ができるようにしていきたいと思います。

第六小学校 PTA会長 大友 智弘

昨年度から続くコロナ禍で制限のかかるなか、PTA活動にご協力いただいた保護者・教職員の皆様に御礼申し上げます。各校も同様かと思いますが七小PTAにつきましても「コロナ禍でも何ができるか」を考え、活動してまいりました。夏休みに低・中・高学年の3部入替制で開催した水風船イベントでは、マスク越しではありますが多くの児童の笑顔が溢れていました。マスク無しの児童の笑顔が見られる日が早く戻りますように。

第七小学校 PTA会長 林 祥弘

今年度は会則の変更やオンライン・動画を活用した広報など、時代に合わせた活動を模索する1年間でした。中でも一番思い出すのはPTA主催の花火大会です。コロナ禍でも子どもたちが安全に楽しめるよう、沢山の知恵を出し合いました。役員はもちろん、花火師、くるりん、たっぴくんたっぴちゃん、地域のジュニアリーダーなどが手を貸して下さり、PTAならではの繋がり・機動力を感じました。八小の子どもたちに関わる皆に感謝です。

第八小学校 PTA会長 丸山 恵

本年度は保護者会が開催され、各委員会の選出が実施できたが緊急事態宣言により各委員会引き継ぎが行えず、PTA活動はほぼ中止となりました。但し、「通学路合同点検」前に通学路の調査をPTA独自で実施し、注意箇所や交通量を含めた写真を学務課宛に上申しました。児童の学校生活は先生方の努力により、日光移動教室や八ヶ岳自然教室、九小伝統の味噌販売などを含めて、ほぼ予定していた活動を行えました。更に創立記念品は九小自由帳を配布しました。

第九小学校 PTA会長 西村 信栄

本年度十小PTAでは委員活動を自粛し自転車教室のみの開催となりました。その他の活動は運動会や音楽会での先生方のお手伝いや各団体への会議の出席のみです。PTA活動自粛中、PTA会員の減少という課題について学校と協議を重ね、時代に合ったPTAを模索しアンケートを実施。委員制度を廃止しイベント毎に有志を募集する新方針に決まり、来年度は整備・検討期間、令和5年度より新体制の実施を目指しています。

第十小学校 PTA会長 黒崎 一美

今年度は昨年度に引き続き、コロナウイルスの影響を考慮し、制限された活動になりました。中でもGoogleフォームを使用したアンケートなどを行いPTAの適正化を少しずつではありますが進めております。また、コロナウイルスによるイベントが減少していることもあり、子供たちが前向きな気持ちで小学校生活を送ってもらおうと考え、バルーンリリースを行いました。PTA活動が制限される部分も多いですが、今後も子供たちの笑顔や安全のために活動していきたいと思います。

西砂小学校 PTA会長 小坂喜一

南砂小PTAでは、子どもたちが安全に楽しく学校生活を送れるよう、登下校時の見守り、南砂フェスタ・親子交流会の企画開催等を行い、発行している広報「南風」では、子どもたちの学校生活の様子をお届けしています。コロナ禍で実施できなかった行事もありますが、このような状況下でもPTA活動ができたのは、保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員の皆様のご理解とご協力のおかげです。今年度もありがとうございました。

南砂小 PTA会長 釘宮 未幸

幸小PTAは、感染対策を十分に取ながら「学年部」「校外部」「放課後子ども教室運営部」「自転車教室運営部」での活動、及び「図書ボランティア」を行いました。低学年クラスの読み聞かせ、給食試食会、全学年の保護者による見守り声掛けなどは、学校での様子を知る良い機会だったと思います。今後も児童の笑顔のために、またより豊かな学びの場をサポートすべくPTA活動を続けて参ります。1年間有難うございました。

幸小学校 PTA会長 八田 浩征

昨年度以降、少しずつ新たな生活様式にも慣れた頃ではありますが、今年度も新型コロナウイルス感染症に振り回されるという1年でした。それでも、新しい役員メンバーを加え、令和3年度もスタートしました。各常置委員も活動をスタートし、本部と共に、連携を取りながら旗振りや3・4年生への自転車検定教室等を行うことが出来ました。

しかし、今年度も夏の大イベントでもある「松明まわし」が開催されることは叶いませんでした。

運動会では全校生徒が他学年の応援をする形での開催でした。保護者も低中高学年に分け来校してもらい、私たちが受付で検温係や誘導等のお手伝いをしました。このようなご時世ということもありますが、学校とPTAとがしっかりと連携をとりながら、子どもたちの笑顔と安全のために、やれることをしていくことが出来たかと思えます。これからもコロナ禍での活動を強いられるかと思えます。今年度の反省をしっかりと踏まえて、来年度も子どもたちの命の安全を最優先に活動が出来ればと思います。

松中小学校 PTA会長 直塚 創

1年間PTA活動にご協力ありがとうございました。コロナ禍により活動が思うようにできない中、工夫をしていただきながら無事に過ごすことができたと思っています。来年は連合会の会長校になります。会員の皆様にもより一層のご協力をお願いすることがあるかと思えますがよろしくお願ひします。

柏小学校 PTA会長 吉澤 康貴

令和3年度のPTA活動は昨年の経験をいかし、スムーズに行うことができました。2年間中止となってしまった活動については形を変えて実施できないか模索中です。

また、保護者の方々から寄せられている「安心・安全な通学路を」というご意見については、地域の方々にご相談しながら、ゆっくりではありますが動き始めました。来年度も学校、保護者、地域の方と連携しながら取り組んでいきたいと思ひます。

上砂川小学校 PTA会長 草間 由香里

新生小学校PTAは、令和3年度コロナ禍でも子どもたちの笑顔が見られるような活動を学校と話し合いながら行いました。昇降口の窓にキットパスという水彩チョークで季節の絵とメッセージを描くこと、夏休みにPTA主催の工作教室を開催することができました。皆様のご協力のもと、子どもたちの笑顔を多くの場面で見ることができました。今後も子どもたちのための活動ができるよう取り組んでいきます。

新生小学校 PTA会長 園田 智恵

## 1年間ご協力ありがとうございました